

● NPOと植樹で、 一歩進んだエコの民に。

エコ意識が高まったら、NPOのボランティアに参加してみてもいい。NPOとは、医療や福祉など、社会のための活動をする非営利団体のこと。NPOのなかで環境関連の活動を行っている団体は4000以上。これらの団体と市民とを結んでいるのが、環境ボランティア見本市を主催する須藤さん。「見本市では、海・山・森・川・街でボランティアを募集する25団体がブースを出し、市民の参加を受け入れてくれます。NPOのスタッフから直接話が聞けるので、ボランティア初参加の人におすすめです」。

非営利ではなく株式会社として環境活動を行っている人も。服部さんは、植樹イベントのプロデュースを手がける。「協賛企業を募って、子供たちと小学校や公園に木を植えるイベントをプロデュースしています。子供たちに思い出を作り、さらには木も残す。木を植える楽しみがあって、実はその行為は環境にいい。スティックにならない活動に参加してほしいです」。



はっとりすけ
服部進さん

ハートツリー株式会社
代表取締役。吉野杉を使ったマイ箸も生産。植えた木を製品として循環させている。



ハートツリーマーク

↑ハートツリーのロゴ。キンレイのうどんなど、協賛企業が出す製品にも、このロゴが。

行動編



↑上・子供たちが木を植えている様子。みんな夢中です。下・植えた木には、いつ誰が植えたものなのかがわかる看板が立てられ、自分たちが植えた証として子供たちの記憶に残る。